

I 出席状況・アンケート回収状況

項目	人数	案内人数に対する比率	アンケート回答率
案内人数	250	100%	
出席申し込み	80	32%	
出席数	53	21%	
アンケート回答	47	19%	89%

※ 案内社数は112社

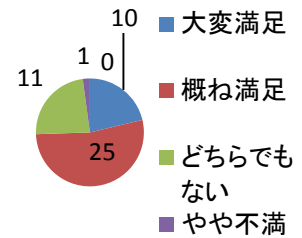
II 各質問への回答

1. 各講演に対する満足度とコメント

(1) 中東協力センターバグダッド事務所

評価基準	大変満足	概ね満足	どちらでもない	やや不満	不満	(合計)
配点	5	4	3	2	1	-
件数	10	25	11	1	0	47

平均点	3.94
-----	------



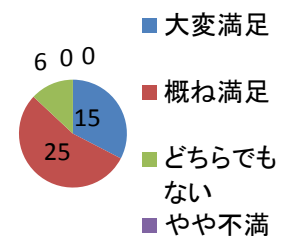
(コメント)

No.	内容
1	一部駆け足気味に感じる場所があった。
2	もう少し詳細な情報提供が欲しかった。
3	現地のフレッシュな情報を届けてくれ参考になった。日本企業の参入TIPなど聞きたい。
4	情報が新しく多岐にわたった
5	生の情報で大変興味深く役に立ちました。
6	イラク政府の熱意が伝わってきて、多くの企業が意欲をかき立てられたと思います。
7	現地の生の情報に触れ、有益でした。
8	イラク経済情勢や中東協力センターの活動を知ることができた。
9	分析が少ない。
10	最新ニュースに触れることができた。
11	浅く広かったため、テーマを絞った法が良い。
12	内容に対して時間が短かった。

(2) コントロールリスクス社

評価基準	大変満足	概ね満足	どちらでもない	やや不満	不満	(合計)
配点	5	4	3	2	1	-
件数	15	25	6	0	0	46

平均点	4.20
-----	------



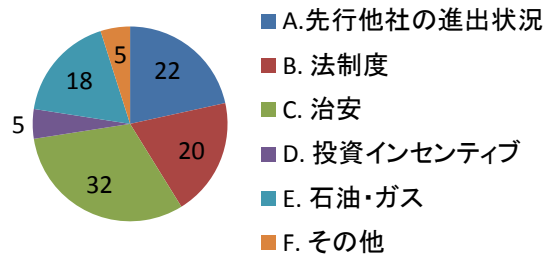
(コメント)

No.	内容
1	普段入らない情報紹介が有り難かった。
2	概要は良く分かったが、より詳細な状況の解説が欲しかった。
3	今後の治安状況が安定・好転するということで安心できた。
4	ISのリスクを正しく理解できた。
5	直近の情報が生々しかった
6	大局的に理解ができました。今後更に詳細にわたり聞ける機会を提供して欲しい。
7	現地の生の情報に触れ、有益でした。
8	イラク各地の治安情勢を理解することができた。
9	質疑応答も興味深く拝聴しました。

II 各質問への回答(続)

2. イラクに関する今後の関心分野 (複数回答可)

選択肢	A. 先行他社の進出状況	B. 法制度	C. 治安	D. 投資インセンティブ	E. 石油・ガス	F. その他	(合計)
件数	22	20	32	5	18	5	102
比率	22%	20%	31%	5%	18%	5%	100%



(具体的な内容)

No.	内容
1	A. イラクに拠点を維持している商社・メーカー、国営石油会社や欧米メジャーの地域責任者
2	A. イラクで活動している日本企業の生の声を聞きたい
3	A. 欧米仏伊等進出企業(シェル、エクソン、ENI等)の具体的な安全対策、情報収集方法
4	B. 車両に対する新法規の詳しい内容の入手方法。2月初旬に新法規は施行されるか
5	B. 法規制が無いのに規制される、輸入バイクに関する排気量の規制等を正確に調べる方法
6	C. 現地進出企業関係者の生の声
7	C. 引き続き治安関連の話を知りたい。
8	D. イラクにおける投資機会や方法、成功例を知りたい
9	E. 電力事情
10	F. TBI(イラク貿易銀行)について
11	F. バスラ川とトルコ国境の輸入通関と国内輸送、TBIの現状と取引フロー(動きが遅すぎる)
12	F. 水インフラ
13	F. 現地ローカルスタッフ雇用における留意点。出張・駐在(バグダッド、バスラ)における留意点
14	F. イラク電力省関係者による今後の電力計画、現状等
15	F. 対テロ等の経済制裁と、対象国への経済活動への影響、および考え得る予防・対策

3. JCCMEへの要望等

No.	内容
1	いつも有益なセミナーを開いていただき感謝しております。
2	有り難うございました。今後ともよろしく願います。
3	今後も積極的なセミナーの開催をお願いしたい。
4	このような機会を設けていただき有り難うございました。
5	The seminar was well organized and staffs were very supportive.
6	H.P.のイラク委員会の情報更新を行って欲しい。

III 今後の対応(案)

1. 次回セミナーのテーマ候補

- ① 現地進出日系企業の安全対策(駐在時、出張時)
 - ・日系企業に加え、欧米仏伊等進出企業等も視野に入れる
 - ・イラクデスクが調査を行い、講演者の1人として発表する方法もある
- ② ローカルスタッフの雇用・管理等における留意点
 - ・①のテーマの延長として、日本人が駐在できない場合の代替案となる
- ③ 諸制度と現地事情について
 - ・情報入手の方法、対策
 - ・TBI(イラク貿易銀行)の状況
- ④ 電力事情
 - ・電力省関係者による電力供給の現状と今後の電力計画

2. その他

昨今再開したイラク委員会ホームページの更新を継続する。